

(2) パネルディスカッション資料(林 良嗣 氏)

国土形成計画の考え方

名古屋大学環境学研究所
林 良嗣

1

これまでの国土計画

昭和27年の第1次全国総合開発計画以来、5次にわたり全国計画を策定

必然過程に導く大規模開発の地方の潤滑への対応など、それぞれの時代ごとの国土が抱えていた課題の解決に向けた基本方針を示す

「開発」を基調とした量的拡大を図る計画

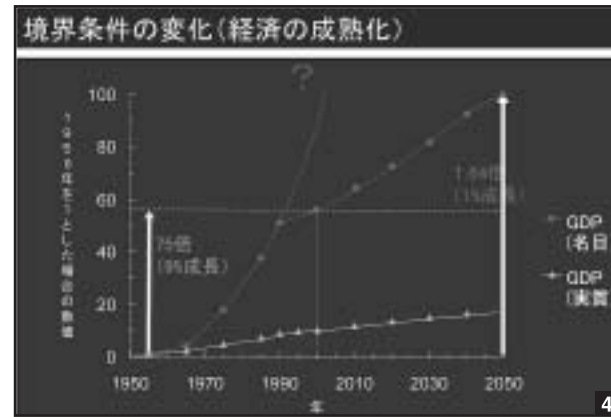
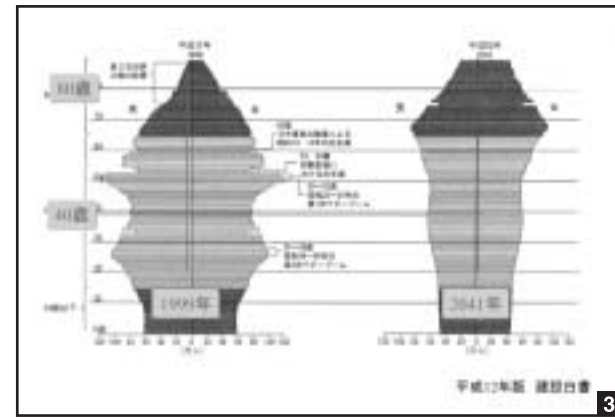
平成19年(2007年)から始まる人口減少社会

人口減少下の成熟社会にふさわしい国土の質的向上を図る国土計画へ転換を図ることが必要

国土形成計画を本格的に導入

安全・安心・安定した国土と国民生活の将来像の提示

2

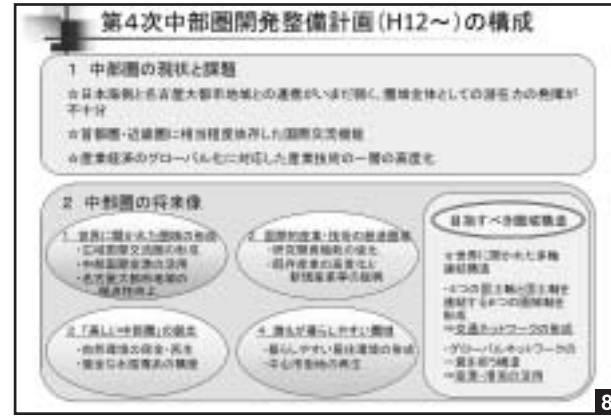


地域づくりへの土地利用・交通戦略

- 経済から生活質へ
- 持続可能な国土

→空間の再設計

12



持続可能な国土

(a)環境持続性: 自然環境, 人工環境

(b)経済・財政持続性: 市街地, 農地, 里山, ...

(現状)

- ・郊外スプロール(一般にはハザード地区)の放置
- ・中心市街地の衰退

(方針)

- (a), (b)両方から見て
- ・郊外(ハザード)地区からの「計画的撤退」
- ・中心市街地の「街区内再構築」
- のツイン政策により、「人口が平準なら、市街地も平準」を打ち出すべき

13

生活空間の現状

モータリゼーションとスプロールの相乗作用

中心市街地の衰退 | 災害危険地域への宅地進出

生活環境質低下
インフラ維持・管理費の増大
地域の景観悪化と個性喪失

14

